資料5

富山県経済・文化長期ビジョンの策定に向けての視点（案）

1．目指すべき将来像

〇少子高齢化、人口減少の進展が予想される中、富山県の経済を将来に向け新たな飛躍に結びつけるための目指すべき将来像
〇グローバル化がさらに進展する中、県民が文化の振興を通じ、ふるさと富山に誇りや愛着を持ち続けるための目指すべき将来像

2．検討テーマ例

（経済）

- 富山県の産業集積の特色、強みを活かし、将来どのような産業構造を目指し、県民所得の向上につなげるか
- 生産年齢人口の減少が当分の間継続することに対応し、労働生産性をどのように向上させるか
- 高齢者や女性が活躍するための環境づくりをどのように進めるか
- 科学技術の進歩、研究開発の革新、ICTの進化を、いかに地域経済の振興につなげるか
- 陸・海・空の社会インフラ整備や県土形成、日本海国土軸などを、今後どのように進め、地域経済の発展に取り込むか
- その他、地域交通基盤の整備、外国人観光客の受入体制整備、健康寿命の延伸などを推進することで、本県経済の活性化につなげることができないか

（文化）

- 富山県の文化の魅力の再発見やブラッシュアップをいかに進めていくか
- ふるさと富山県への愛着や誇りをどのように若者たちに醸成していくか（ふるさと教育、ふるさと文学の振興など）
- 次代を担う子どもたちのために、いかように芸術文化の環境を整備すべきか
- 本県の歴史、文化の魅力をどのように世界に発信していくか
- グローバル化の進展する中、日本人の心のよりどころとして、伝統文化の継承、発展をいかに進めるか
- 雄大で美しい自然や美味しい食とあわせ、多彩な文化の魅力をいかに活かし、観光、ビジネス等で訪れる外国人の増加につなげるか

3．横断的視点

◆ 人づくり　　ものづくりや文化を支える人材育成、可能性を伸ばす学校教育、教育機関の活性化
◆ グローバル化　　世界とのつながり、発信力の強化、グローバル人材の育成、留学生・外国人の受入・活用　　など